

平成27年度 学校評価計画

このたび平成26年度「学校評価結果」を踏まえまして、平成27年度「学校評価計画」を作成しました。

本年度は、この「学校評価計画」の「評価指標」及び「活動計画」に基づき、教育活動の充実・発展に努めます。

徳島県立川島高等学校

平成27年度 学校評価計画：評価指標・活動計画表（1）

徳島県立川島高等学校

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(1)中高一貫教育を活かした系統的な指導体制の確立</p>	<p>①学校運営面での中高連携の促進に努め、異年齢集団における社会性の育成を進める。</p> <p>②6年間の計画的・継続的な教育の研究を進め中高の一貫性を促進する。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・中高一貫教育推進委員会を定期的に開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中高一貫教育を活かした教育活動が行われている」と思う教員の割合は、80%以上をめざす。 ・「併設型中高での学校生活は意義がある」の6年次生の割合70%以上をめざす。 <p>②・平成28年度教育課程を中高連携の下に年2回以上検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高相互の授業見学を実施し、中高合同の教科会を適宜開き検討する。
		<p>活動計画</p>	<p>①・中高一貫教育推進委員会において、6年次生対象に実施した川島中高での6年間の学校生活についてのアンケート結果の課題・改善点について検討する。また、7月の中高一貫教育説明会、10月実施の県立川島中学校2年生対象説明会の内容を検討する。</p> <p>②・平成28年度以降の教育課程を教育課程委員会及び中高一貫教育推進委員会を通して検討し、編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高相互の授業見学、研究授業に対する合同協議や中高合同の教科会において、授業方法等について検証し、授業の工夫改善を図る。 ・今年度実施の授業展開や学力確認テストによる4年次生のクラス編成の検証をする。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(2)確かな学力の充実と指導力の向上</p>	<p>①個別面談の充実や、朝の学習、家庭学習など自主学習の促進に努める。</p> <p>②学力向上を図る研修の充実や、授業の創意工夫に努める。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・「三者面談や個別面談は進路選択などに役立っている。」と思う生徒の割合は、75%以上をめざす。</p> <p>・「朝の学習により、学習の習慣が身についた。」と思う生徒の割合は、50%以上をめざす。</p> <p>・家庭学習時間を、前年度から10分以上増加させる。</p> <p>・漢字検定、英語検定準2級以上の合格者数は、それぞれ25人以上をめざす。</p> <p>・読書の推進に努め、年間読書冊数は、一人7冊以上、貸出冊数は、前年度から10%増をめざす。</p> <p>・総合的な学習の時間の在り方や運営方法について、年3回以上検討し、その改善・充実を図る。</p> <p>②・生徒の授業に対する満足度は、75%以上をめざす。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①・生徒との常時面談を心がける。</p> <p>・朝の学習の時間を毎日10分間設定し、本校独自の「朝の学習ノート」で自学自習を行わせる。4、5年次生は漢字検定及び英語検定合格を目標とした学習を行う。6年次生は各自の進路目標達成のための学習を行う。</p> <p>・朝の学習ノートに前日の生活記録を記入し、生徒に自己反省を促すことで、規則正しい生活習慣と学習習慣を身につけさせる。</p> <p>・宿題・週末課題の提出を義務づける。</p> <p>・家庭学習時間調査を毎月行う。</p> <p>・読書ノートを活用させたり、校内読書会やクラス読書会を開催し、読書の啓発を行う。</p> <p>②・学力向上検討委員会と連携し、国・数・英・理・歴・公における学力・学習状況についての目標・方策を設定し、学習支援体制の改善に努める。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(3)生徒の能力・適性に 応じた進路の実現</p>	<p>①進路指導プログラムの 改善・充実を図り、進 路達成意欲を高める。</p> <p>②三者面談・年次PTA などにより保護者との 連携強化に努める。</p>	<p>評価指標</p> <p>①・補習，実力テスト，模試等に積極的に取り組む生徒の割合は，75 %以上をめざし，保護者の満足度は，80 %以上をめざす。 ・進路意識を高める行事や講座に対する満足度は，生徒・保護者ともに75 %以上をめざす。</p> <p>②・個別面談に対する保護者の満足度は，85 %以上をめざす。 ・進路指導に対する保護者の満足度は，75 %以上をめざす。</p>	
		<p>活動計画</p> <p>①・進路達成のために補習，実力テスト，模試を計画的に実施するだけでなく，「朝の学習」「総合的な学習の時間」「土曜日補習」「サテライン授業」など様々な学習支援を行い，学力や小論文力養成を図る。 ・4年次生に対し「職業人講演会」，5年次生に対し「アカデミックレクチャー」，6年次生に対し「進路ガイダンス」を実施する。 ・小論文講演会，進路講演会，進学座談会を各1回以上実施する。 ・先進校視察や授業力養成講座に5名以上の教員を派遣し指導力向上を図る。</p> <p>②・夏季休業中，冬季休業中，大学入試センター試験後などに，三者面談を実施する。 ・年次PTAを年2回（5・10月）実施し，保護者面談や保護者対象の進路講演会を実施する。 ・PTA大学視察を年1回実施する。</p>	

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
(4)基本的な生活習慣の確立を図る生徒指導の徹底	①生徒一人一人の自覚を促し、基本的な生活習慣を身につけさせる。 ②あらゆる教育活動とおして、きめ細やかな生徒指導を行い、いじめ防止等の取り組みに努める。	評価指標	①・全校集会、指導週間を月1回実施し、生徒指導の充実に努める。 ・学校評価アンケートにおける、生徒の達成度は、80%以上をめざす。 ②・学校評価アンケートにおける、生徒指導に関する生徒・教職員の達成度は、80%以上をめざす。
		活動計画	①・ホームルーム活動、年次集会、全校集会、指導週間等の機会を活用し生徒の自覚を促し、指導の徹底を図る。また、登下校指導、校内外巡視等を適宜実施し、生徒の注意を喚起することによって事故や問題行動の未然防止を図る。 ②・授業態度、身だしなみや携帯電話に関する指導等について共通理解し、指導の徹底を図る。また、教職員間の情報交換を密にし、個々の生徒の指導について連携して取り組む。さらに、ホームルーム担任を中心に保護者との連絡を密にし、相談等に対応する。 ・長期休業中の校外巡視等、PTAや地域、青少年育成補導センター、警察署等の協力のもとで実施し、連携を深める。 ・交通講話、非行防止教室、交通安全教室、薬物乱用防止教室（4年次対象）、健康教育講演会（4年次対象）を年1回以上実施する。 ・カウンセリングの体制を充実させる。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(5)人権尊重の精神の涵養を図る人権教育の推進</p>	<p>①人権教育指導計画の改善と，“あわ”人権学習ハンドブックの活用を図る。</p> <p>②人権尊重の意識を高めるため，創意溢れる具体的な取組の展開に努める。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・「人権教育ホームルーム活動の実施回数と内容は適切であり，人権教育は充実している。」と思う生徒の割合は，85 %以上をめざす。</p> <p>②・「人権の大切さを学び，それを日常生活に活かそうとしている。」と思う生徒の割合は，85 %以上をめざす。</p> <p>・「人権を大切にしている教育活動が行われている。」と思う保護者の割合は，85 %以上をめざす。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①・人権学習ホームルーム活動においては，各年次の状況，生活課題に即した学習主題を設定し，できるだけ多くの「個別的な視点」や「普遍的な視点」を盛り込んだ授業を展開し，生徒参加型の授業展開も取り入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設定した主題について，“あわ”人権学習ハンドブックの活用に努める。 ・授業展開・資料に関する年次検討会，事後研修に努めるとともに「自己評価票」の効果的な利用を図る。 <p>②・人権新聞の編集に人権委員を積極的に活動させ，内容の充実を図り，年3回発行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨島支援学校との交流への積極的な参加を促し，人権意識の高揚を図る。 ・講演会等の日程や内容については，中学校や保護者等に配慮して検討し充実させる。また，講演会や「人権の日」の放送及びホームルーム活動などでは，人権委員がリーダーシップを発揮し，効果的に実施できるよう適切に指導し，人権委員会の活性化を図る。 ・人権尊重の精神の日常化が図られるよう，日頃の声かけ，呼びかけに努める。

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(6)心身ともに健康な生徒を育てる特別活動の充実</p>	<p>①学校行事，生徒会活動等を通じて生徒の自主性の育成に努める。</p> <p>②ホームルーム活動や部活動のより一層の活性化を図る。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・通学路の一斉清掃を学期に1回実施する。 ・川島中高祭など，学校行事への生徒の満足度を80%以上にする。 ・「生徒にさせてみて，それを支援する」場の創造と意識の共有化を図る。</p> <p>②・部活動の入部率85%以上をめざす。 ・部活動委員会を年3回開催する。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①・生徒会や部活動，ホームルームが連携し，通学路の清掃を行うなど積極的に美化活動に取り組む。 ・川島中高祭への積極的参加を促し，意識の高揚を図る。また，生徒がリーダーシップを発揮し，一体となって運営できるよう適切な指導を行う。</p> <p>②・部活動への積極的な参加を促す。また，部員同士で十分に話し合いをさせ，年間活動方針を明確にさせる。 ・部活動委員会を通して，各部活動間で連携を深めるとともに，問題点を話し合う。</p>

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(7)環境教育及び国際理解教育の推進</p>	<p>①「新学校版環境 I S O」に取り組むなど環境保全活動に努める。</p> <p>②国際性を高めるために積極的に国際交流を図る。</p>	<p>評価指標</p> <p>①・『新学校版環境 I S O』に取り組み，清掃活動や環境美化に積極的に取り組んでいる。」と思う生徒の割合は，70%以上をめざす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミの分別・節電・節水等に努めている。」と思う生徒の割合は，70%以上をめざす。 ・電気・水道の使用量については，2%減をめざす。 <p>②・県立川島中学校と合同の海外語学研修に高校生を2名以上参加させる。</p>	
		<p>活動計画</p> <p>①・『新学校版環境 I S O』告知板を掲示し，活動内容の広報に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日直に「節電・節水，ゴミ処理，環境美化への取組」を Eco Diary に記録をさせ，意識の高揚を図る。 ・クラスにゴミ箱を3種類設置し，ゴミの分別の徹底を図る。また，「古紙回収箱」を設置し，ゴミの減量化を呼びかける。 ・委員会活動の一環として「レッツ・クリーン」環境美化活動への参加や『新学校版環境 I S O』の告知板作成等に取り組む。 ・舎外一斉清掃を実施する。 ・教科・科目・総合学習等，学習活動を通じて環境教育を実施する。 <p>②・海外語学研修についての説明を入学者説明会や学校説明会だけでなく，日頃の指導においても積極的に実施する。</p>	

重点課題	重点目標	評価指標と活動計画	
<p>(8)開かれた学校づくりと安全教育の推進</p>	<p>①地域貢献活動等などの活性化や、ホームページ等を活用した広報活動の充実を図り、家庭や地域の連携を深めるとともに、外部評価結果を生かす取り組みの推進。</p> <p>②地域と連携した安全・防災教育の積極的な推進に努める。</p>	<p>評価指標</p>	<p>①・心豊かで美しい街づくりをめざすボランティア活動を実施する。 ・「ホームページが充実しており、学校の活動状況を理解するのに役立っている」と思う割合は、生徒・保護者とも70%以上をめざす。</p> <p>②・本校における防災上の課題を把握し、より実践的な防災教育を推進する。 ・あらゆる災害を想定し、多様かつ実践的な防災訓練を年間に複数回実施する。</p>
		<p>活動計画</p>	<p>①・吉野川市「レッツ・クリーン」に参加し環境美化を推進する。 ・イベントに際しては積極的にボランティアとして参加させる。 ・ホームページへの掲載情報の拡充に重点を置き、最新情報の掲載や項目の追加などの更新を適時効果的に行う。 ・携帯メールによる緊急連絡網を活用する。</p> <p>②・地域や行政と連携した防災訓練を実施する。 ・教科指導を通じた防災教育を実践し、生徒の防災意識を高める。 ・防災ボランティア推進事業を活かし、学校や地域に貢献できる諸活動や校外での研修にも積極的に参加する。</p>

徳島県立川島高等学校

〒779-3303

徳島県吉野川市川島町桑村367番地3

TEL 0883-25-2824 FAX 0883-25-5340

ホームページ URL <http://kawashima-jhs.tokushima-ec.ed.jp/>

メールアドレス kawashima-jhs@mt.tokushima-ec.ed.jp